

24/2/28 名古屋市議会経済水道委員会（名古屋城部分）

名古屋市民オンブズマンによる、半自動文字起こしアプリによる文字起こし

委員長 上村みちよ(自民・東区)：次に、観光文化交流局関係であります。

この場合、当局より発言を求められて、求められておりますので、お許しいたします。

佐治観光文化交流局長：今回、観光文化交流局におきましてご審議をお願いいたします。

令和6年度当初予算に関係のない議案は、補正予算といたしまして、第54号議案令和5年度名古屋市一般会計補正予算第7号のうち、観光文化交流関係の一見、第56号議案、令和5年度名古屋市名古屋城天守閣特別会計補正予算第1号の1件の合わせて2件でございます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

委員長 上村みちよ(自民・東区)：それでは、観光文化交流局関係の第54号議案関係部分および第56号議案の2件を一括議題に供しご質疑をお許しいたします。

浅井正仁(自民・中川区)：それでは本日は昇降技術の開発費用に係る補正ということでの審議ということなんだけど、先に開催された討論会の人権に関わる発言がありました。

そして先日、その中間報告が発表がありました。

先達での総務環境委員会で長時間にわたる議論がされました。

それは皆さんも多分聞いて、議事録もらってると思うんだけど。

そこでね私が言いたいのが、今日補正予算の審議をする昇降機はこうした人権問題を起こしたこれそもその原因だと思ってます。

なのでこの補正予算の審議をするにあたって、市として、障害をお持ちの皆さんに今後どのようなスタンスで昇降機の設置を説明していくのか。

これが今後の、ものすごく重要な課題になると思ってます。

つまり今日の昇降機の審議に当たっては、こうした障害者の方々に対する市の姿勢、考え方をお聞きしないと判断ができないと思ってます。

そこで委員長にお願いなんですけど、私の質問の中でそうした人権侵害に係る市の考え方を質問させていただきたいと思ってますが、お許しを願いたいと思ってます。

よろしいですね。

それではまず最初の質問ですが、先日の総務環境委員会で、市長に葛谷委員が人権侵害があったことに対する市長の考え方をお聞きしました。

そのとき市長は6月23日に討論会の直後の話ですよ。

このときに共産党の田口議員の本会議質問のときの答弁を読み上げました。

それを聞いて田口議員は、検証委員会はその本会議答弁を踏まえて検証した結果を中間報告として出したのに、去年の答弁を読み上げるのはどうかということを言われました。

また横井委員がしっかり反省すべきではないかと言ったら、市長は何遍も謝っとるがねという答弁だった。

さらにね、鵜飼議員が名古屋市民の皆さんにもきちんとお詫びを申し上げた方が、今後の市政運営に良いのではないかという意見をされました。

それに対して、あんまり言い訳言うといかんけど、確か、相当言ったはずと市長さんは答えられました。これを聞いて私は非常に残念だったなど。

まさしく田口委員の言ってるのが、本当だったんだろうなど。

皆さんも中間報告読まれましたよね。1年前と何も変わってないのかなど。

皆さんの心の葛藤だとか、そういうものは、市長さんには通じなかったのかなというところでもあります。

名古屋城の昇降機の設置のあり方を巡って人権侵害まで引き起こしたにもかかわらず、市長の反省は去年と全くなかった。

名古屋城を木造目標にするなら、少しでも多くの方に最上階からの景色を見てもらいたい、そういう思いで昇降機の技術開発にも私は賛成してきました。

でもそ昨日の総務環境委員会で、もう市長はまだ2階だとか言ってます。

人権侵害の反省が1年前と一緒、さらに何回か謝っとるという発言。

当局さんに、確認させていただきたいと思います。

今回のこの対立構造による人権侵害が二度と起こらないためにも、障害者の方を始め市民に対してね、名古屋城として、観光文化交流局として、どのようなスタンスで昇降機の設置について今後、説明していくのか。お答えください。

佐治局長：昇降機の設置に係る局の姿勢、方針についてお尋ねいただいているというふうに認識しております。

令和5年の10月31日に公募の最優秀提案者でございますMHIと契約を締結いたしましたしまして、年末の12月25日のこの委員会の所管事務調査でも開発の方針を説明させていただいたところでございます。

現在仕様の決定に当たりまして評価審査を行う第三者委員会におきまして、有識者委員会の意見聴取を行う必要が生じましてその準備を進めているということもありません。今回繰越明許をお願いしているところでございます。

今後安全性であるとか耐久性につきまして、評価機関の評価を取得することを初め業務委託仕様書の特記事項にも記載した通り垂直昇降設備これを可能な限り上層階に導入できるように開発進めていくこの方針に変わりはありません。

以上でございます。

浅井正仁(自民・中川区)：変わらないということは最上階を目指すという理解でいい、いいと思うんだけど、それでいいですかね。

佐治局長：浅井委員ご指摘の通りでございます。

浅井正仁(自民・中川区)：はい委員長、では今局長が答えてもらったもので、この中間報告を局長今年からだね、1年間観文いなかったんだね。

この1年間の間で、局長も知らなかったことがここには多分書いてあると思うんだけど、これを読んで局長はどう思われたのか、市長と同じように、何回も謝っとるそういう考えなのか。ちょっと教えてください。

佐治局長：中間報告を読んで、私の受け止め方という形でご質問いただいたと思っております。

昨年8月に検証委員会が立ち上がりまして、この間局としても検証委員会から要求があった資料の提出でありますとか、ヒアリングにつきましては真摯に対応してきたというところでございます。

2月の14日に中間報告が公表された後に、自分としましても現職以前のことも含めて時系列に沿って事実関係を確認しながら報告書を読んでまいりました。

各項目に整理されました問題点であるとか、評価につきまして、この場で一つ一つ言及することは避けたいと思っておりますけど、第三者の目を通してまとめられました今回の市の市民討論会につきまして、改めて振り返ってみると、本当に記載内容の通りでありまして、依存がありませんというのが私の素直な思いでございます。

市民討論会を開催しました局の責任者としまして、企画、準備、そしてそのスケジュール管理を含めた進め方から当日および事後の対応につきまして全般にわたって、大いに問題があったということで認めざるを得ないというふうに考えているところでございます。

差別的発言を受けられた方はもちろんのこと、多くの市民の方の信頼を裏切ったことにつきまして大変申し訳ないという気持ちと、反省の気持ちを新たにしているところでもございます。

中間報告では主に当日の差別事案に係る直接だけの原因究明についての研修が優先されたというふうに聞いておりますが、先日の総務環境委員会の質疑で、様々なご指摘ありました通り、今後最終報告に向けまして原因であるとか背景につきましてもさらに検証が進められるように聞いておりますので、局としましても精緻に対応していきたいというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

浅井正仁(自民・中川区)：はい、すいません。

では、局長さんの言葉を信じたいと思っております。

今回の昇降機を設置していくにあたってのね、繰越免許費530万円余の提出がされてますが、今後のこの昇降機の開発スケジュールを、前回の委員会でも聞いたと思うんですけど、改めて教えてください。

昇降技術開発等担小鹿主幹：昇降技術開発の今後のスケジュールでございますが、令和5年、開発する垂直昇降設備の安全性や耐久性等について評定を取得するべく、対応すべき法令や基準等について把握をいたしまして主要な検討を進めてきております。

令和6年度に入りまして評定審査に向けての準備これを引き続き行い、有識者委員会のご意見を伺いながら垂直昇降設備の仕様を決定してまいりたいと考えております。

引き続きまして機器の製作に必要な詳細な設計や図面作成等、これを進めていく予定としております。

さらにその後になります。試作機を製作をいたしまして令和8年度までに、評定機関の評定を取得をいたしまして開発を終える予定としております。

以上でございます。

浅井正仁(自民・中川区)：その令和8年っていうと、今年が令和5年、3年だね。

3年かかる、となると最低3年だねそうすっとね、さきの総務環境委員会で、市長、いつだったかなあれ本会議で質問したときにリニアの話が突然出てきた。この間の総務環境で、また新しいものが出てきたんだよね。尺取虫。

その尺取虫、リニア、市長はぐにゃぐにゃというわけですよ、水平のところも行くわけ。リニアで流動しながらそう言ってましたけど、けどまだすぐにはできるかどうかわからん。3年から5年だと言ったと思いますっていう発言されてるんですよ。

それリニアなのか尺取虫なのかよくわかんないんだけど、とりあえず尺取虫を聞きたい。同じ3年なんだ。尺取虫について、あなたたちが知ってることを。その業者、打ち合わせ、どういったものなのか教えていただきたいと思います。

小鹿主幹：委員のですね、今ご質問のありました、また市長がですね尺取虫のようなものというふうにおっしゃっていたというふうには

浅井正仁(自民・中川区)：ちょっと待ってごめんね。

そもそもごめんね、そもそも、座って、尺取虫っていうのは、これちょっと昔の資料探したら出てきたんだけど、2018年6月27日に正庁のところで、いろんな企業が来て、こういう資料はもらったんだけど、そん中で尺取虫っていうのはこれか。

この株式会社テムザックって、これうちらクモって呼んどったんだけど、ね、この早稲田大学共同開発、人を乗せたロボットの2足昇降に成功っていう。これ皆さん覚えてますよね。これが尺取虫なの。このクモ、足が何本もあるやつ、うちはこれクモって呼んどったんだけど、これが尺取虫なのかな。

小鹿主幹：私も先日の総務環境の委員会の中で尺取虫という言葉は初めて聞いたわけなんですけれども、それからですねどういふものかなどですね確認をしておりまして、委員がおっ

しゃるようなですねバリアフリー説明会というものが平成30年にございまして、その資料などもですね確認をいたしまして、どれか尺取虫に当たるものがないのかというふうなことをですね調査をいたしました。今委員がおっしゃられたような2足歩行補助ロボットというものが当時提示されておりましたけれども、これが尺取虫に当たるのかどうかというのが当局の名古屋城の中では、結論としてはよくわからないというふうなところでございます。

浅井正仁(自民・中川区)：名古屋城は尺取虫はわからない。  
総務環境の中でシークレットだけど、役所の仲間と会ったって、市長は言ってるんだけど、それはあなたたちの中にはいないということ、かな。

小鹿主幹：先ほど市長の尺取虫の発言を受けて、我々の方での確認をしている中でさらにですねいろいろ確認しておりましたところ、同じバリアフリー説明会等同じような時期にですね、市長と名古屋城の当時の所長がですね、企業様とお話する機会というものがあったというふうに記録しておりました。これの内容について確認をいたしましたが、尺取虫のようなものについて話があったかということについて確認が取れていない、よくわからないというふうなことでございます。

浅井正仁(自民・中川区)：そうすると、この尺取虫は、市長だけが会ったの。  
誰が会ったの。

小鹿主幹：先ほど私の方から申しました通り、名古屋城として尺取虫承知していないというところなんでございますが、さらにですね確認を致す中ではございますが、市長さんがですね、役所と一緒にいったというのが先ほど私がですねご説明させ差し上げたような、市長と名古屋城の所長があったというのが該当するのかなというふうに思っておりましたが、これがよくわからないというところございまして、ではどういう経緯なのかなというような調査を進める中におきましては、市長さんと特別秘書さんの方がその企業さんとお話するというような機会がございまして、これにつきましては名古屋城の方、同席していないわけなんですけれども、同席はしていないんですけれども、お顔ですね拝見するタイミングで挨拶だけしたというような記録もございまして、それが先ほど私の方から申し上げた市長と名古屋城の所長が面会したというものと同時期であったものですから、その辺り市長の方で認識の方が混乱されているのかな。そこで市長さんと特別秘書さんがですね、会われたようなことの中で何かしらのお話があったのかなというふうに推察しております。

浅井正仁(自民・中川区)：何かようわからん話です、よう、所長は尺取虫とあったのん。  
所長って当時の所長か。  
そうだな。いつそれはいつあったの当時だから、平成30年か。

小鹿主幹：当時平成 30 年に市長と当時の所長が、その業者さんと会ったのは平成 30 年の 5 月の 2 日というふうな記録でございます。

浅井正仁(自民・中川区)：委員だけど、特別秘書はあったんだな。  
ならちょっといろいろ聞きたいから、特別秘書さんにこの委員会に来てもらえるように、正副でお取り計らいを願いたいと思います。

委員長 上村みちよ(自民・東区)：ただいま浅井委員より、田中市長特別秘書に対する出席のご要求がございました。

本件につきまして、正副委員長にご一任いただきいただきたいと存じますので、よろしくお願いたします。

なお、ご確認させていただきますが、出席を求める案件といたしましては、名古屋城木造天守閣昇降技術開発についてということよろしいでしょうか。

よろしいですか。

それでは質疑が落ち着いた段階で、正副委員長で協議させていただきますのでよろしくお願いたします。それでは質疑を続行いたします。

他にございませんか。よろしいですか。

この場合先ほどご一任いただきました田中市長特別秘書の出席の件につきまして正副委員長で協議をさせていただきますと存じますので、暫時休憩いたします。

よろしいですか。

委員長 上村みちよ(自民・東区)：それでは経済水道委員会を再開いたします。

この場合、ご報告申し上げます。

先ほど浅井委員より名古屋城木造天守閣昇降技術開発に関しまして、田中市長特別秘書に対する出席のご要求があり、その取り扱いについて正副委員長にご一任いただいたところではありますが、正副委員長について協議いたしました結果、3 月 1 日金曜日、観光文化交流局関係の総括質疑の際に、田中市長特別秘書に出席を求めることといたしましたので、よろしくお願いたします。

他によろしいでしょうか。

以上で刊行分各交流局関係を終了いたします。

本日の予定は以上であります。

あすは午前 10 時 30 分から、上下水道局関係の付議議案に対する質疑を行います。

これにて本日の委員会を散会いたします。

お疲れ様でした。